



2025 年 5 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社ファンペップ
代表者名 代表取締役社長 三好 稔美
(コード番号：4881 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部長兼 CFO 林 毅俊
(TEL. 03-5315-4200)

アレルギーワクチンの物質特許成立（日本）のお知らせ

当社が花粉症を対象疾患として開発中のアレルギーワクチン（抗体誘導ペプチド FPP004X）の物質特許（以下、「本特許」）が日本において成立し、この度、特許庁から特許公報が発行されましたのでお知らせします。

本特許は、FPP004X の用途（対象疾患）にかかわらず、物質そのものを広く保護する物質特許です。

【発明の名称】 抗 I g E 抗体誘導用ワクチン組成物
【出願人】 国立大学法人大阪大学^(注)、株式会社ファンペップ
【特許番号】 7678465

(注) 当社は、本特許について国立大学法人大阪大学から独占的な実施権の許諾を受けています。

花粉症は、スギやヒノキ等の植物の花粉に対する過剰なアレルギー反応を起こすアレルギー疾患です。代表的な症状は、くしゃみ、鼻水、鼻づまりや目のかゆみなどです。

日本国内の全国疫学調査による有病率ⁱは、2019 年に花粉症全体で 42.5%、患者数の多いスギ花粉症で 38.8%と高く、またそれぞれ 10 年前（2008 年）と比較して 10%以上上昇しています。花粉症を含むアレルギー性鼻炎の医薬品（内服薬）市場は約 1,700 億円（2019 年）ⁱⁱです。

このため、政府は、国民病とも言われ、多くの国民を悩ませ続けている花粉症を社会問題として捉え、花粉症対策に取り組んでいます。

抗体誘導ペプチド FPP004X は、体内で IgE（Immunoglobulin E）に対する抗体産生を誘導することにより治療効果を期待するアレルギーワクチンです。IgE は、体内に入った異物を排除する働きを持つ抗体の一種で、花粉等の原因物質（アレルゲン）に結合するとアレルギー反応を引き起こします。FPP004X は、免疫細胞に抗 IgE 抗体を一定期間産生させることから、アレルギーに対する持続的な効果が期待されます。この特長を活かし、当社は、花粉症を第一の適応症として、花粉飛散前に投与することでシーズンを通して症状を緩和できる、患者様にとって利便性の高い新しい治療選択肢を提供することを目指しています。

FPP004X に関しては、2024 年 3 月に塩野義製薬株式会社との間でオプション契約を締結しており、同社は、全世界での全疾患に対する独占的研究開発・商業化権の取得に関するオプション権を保有しております。

なお、本特許の成立は、当社グループの 2025 年 12 月期業績に影響を与えるものではありませんが、本特許の日本での実施について独占排他権が認められたことを意味し、FPP004X 開発プロジェクトを強力にサポートするものです。

- ⁱ 松原 篤他. 鼻アレルギーの全国疫学調査 2019 (1998 年, 2008 年との比較): 速報 ―耳鼻咽喉科医およびその家族を対象として―. 日耳鼻 2020;123:485-490.
- ⁱⁱ 花粉症に関する関係閣僚会議「花粉症対策 (厚生労働省)」

以上